

2021年度 札幌遠友夜学校記念館建設支援「連続講座」第2回

8月10日(火)

「日甜の歩みと社是『開拓者精神を貫き社会に貢献しよう』にこめられた思い」

～“北海道開拓と砂糖”に交わるヒト“新渡戸稲造”と“鈴木藤三郎”～

講師：木山邦樹

(日本甜菜製糖 KK 取締役常務執行役員農福連携担当・札幌支社長)

北海道新聞 2021年8月16日(月)夕刊記事

2021年(令和3年)8月16日(月曜日) 2

# 札幌・道央圏

「北海道開拓と砂糖」をテーマに講演した日本甜菜製糖札幌支社長の木山邦樹さん



## 開拓と砂糖 新渡戸ら原点

### 日甜札幌支社長 市民講座で講演

製糖業の成り立ちを学ぶ市民講座「日甜の歩みと北海道開拓者精神を貫き社会に貢献しよう」に「こめられた思い」が、札幌市中央区の豊田館サロンで明かされた。日本甜菜製糖(東京)札幌支社長の木山邦樹さんが、「北海道開拓と砂糖」と題して講演し、「道徳と経済が融合して社会が発展する」と、日甜の社是に込められた思いを語った。(尾崎良)

講座は、新渡戸稲造と札幌遠友夜学校を考える会の主催で10日に行われ、約20人が参加。講演では、新渡戸(「日本開拓者の父」と呼ばれ、日本と台湾で製糖会社社長となった鈴木藤三郎)について語られた。

木山さんは、札幌農学校で学んだ新渡戸の開拓精神が台湾で実を結んだことを説明。新渡戸が国に提出した台湾での産業改良意見書に關し、「製糖利益を生産者に還元すべきなどの視点を盛り込んでいる」と強調した。鈴木については「生産者と会社も収益を上げられる取り組みを行った」と解説。2人の考えが、その後の道内の産業振興政策にも生かされたと紹介した。